

一般社団法人日本トンネル技術協会 研究助成申請書

令和 年 月 日

一般社団法人日本トンネル技術協会
会長 谷 口 博 昭 様

申 請 者 (注1)

ふりがな

氏 名

会員番号

所 属

印

貴社団の助成金を受けて、下記のテーマについて研究を実施したいので、関係書類を添えて申請します。

記

1. テーマ名

2. 申請区分 (注2)

- a. 研究助成部門
- b. 研究奨励部門

3. 助成要望額 金 円

4. 助成金受入方法 (注3)

- a. 奨学寄附金
- b. その他 (具体的に)

(注1) 申請者は本会会員限定です。会員番号を記入して下さい。

(注2) どちらかに○をお願いします。なお、b.の応募資格は40歳未満とします。

(注3) どちらかに○または記入をお願いします。

研究者経歴

氏 名 <small>ふ り が な</small>	印	生年月日	年 月 日
連絡先	住所（〒 ー ） TEL : FAX : E-mail :		
勤務先（所属）		職名	
最終学歴			
学位等			
研究歴			
主な関連著書・ 論文・研究発表 等			

研 究 計 画 書 (その①)

<p>テ ー マ 名</p>	
<p>研究の概要 (200 字程度)</p>	
<p>研究の背景 ・ 目的</p>	
<p>研究内容の新 規性・独自性 (既往の研究 との比較等)</p>	
<p>トンネル等事 業への貢献の 見込み</p>	

(注) 研究計画書について、用紙が不足するときは、1 ページを上限として、追加して下さい。

研 究 計 画 書 (その②)

研究計画	<p>【研究の目標】 (予定する具体的な成果目標を箇条書きで記載して下さい。 また、概念図やフロー図等を付加することも可です。)</p> <p>【年次計画】 (研究計画が単年度の場合には記載不要です。) (研究の全体計画が複数年にわたる場合、年次計画を以下の例を参考に記載して下さい。ただし、継続助成を保証するものではありません。) (例) <令和〇年度>研究項目 ① ② ③ <令和〇年度>研究項目 ① ② ③</p> <p>【当該年度の実施計画】 (実施項目ごとに実施内容を具体的に記載して下さい。)</p> <p>【実施体制】 (複数人数で実施する場合 (申請者以外も含む) の実施項目分担体制を記載して下さい。)</p>
当該研究に関する他機関からの助成有無	有 機関名： _____ 助成期間： _____ 無

助成要望額内訳

費 目	金 額	内 訳
人 件 費		
資 料 費		
調 査 費		
旅 費 交 通 費		
消 耗 品 等 費		
通 信 費		
印 刷 製 本 費		
謝 金		
借 料 ・ 損 料		
論 文 投 稿 料		
管 理 費 用		
合 計		

(注) 助成を希望するテーマの研究に必要な範囲で、実態に即して作成して下さい。内訳はできるだけ具体的に記入して下さい。

助成決定通知書

令和 年 月 日

申請者
氏 名
所 属

一般社団法人日本トンネル技術協会
会長 谷口 博昭 印

令和 年 月 日付けで申請のあった研究助成については、下記のとおり助成することに決定しましたので、通知します。

記

1. 助成番号

2. 助成テーマ名

3. 助成期間

自 令和 年 月 日 至 令和 年 月 日

4. 助成金額

金 _____円

5. 助成に当たっての条件

申請書に記載された内容に従って研究を実施して下さい。

助成不採用通知書

令和 年 月 日

申請者
氏 名
所 属

一般社団法人日本トンネル技術協会
会長 谷口 博昭 印

令和 年 月 日付けで申請のあった「(テーマ名を記入)」に対する助成については、残念ながら不採用となりましたので、お知らせします。

請 書

令和 年 月 日

一般社団法人日本トンネル技術協会
会長 谷口 博昭 様

助成研究者
氏 名
所 属
役 職
住 所

印

下記の研究助成について、一般社団法人日本トンネル技術協会研究助成要綱及び申請書等に
従い誠実に実施致します。

記

1. 助成番号：

2. 助成テーマ名：

3. 研究の概要：別添(公開を前提に、200字程度で作成してください。)

4. 助成期間：自 令和 年 月 日 至 令和 年 月 日

5. 助成金額：金 円

研究助成金振込先通知書

令和 年 月 日

一般社団法人日本トンネル技術協会
 会長 谷口 博昭 様

助成研究者
 氏 名
 所 属
 役 職
 住 所

印

助成テーマ名 _____

助成研究者名

研究開発助成金の受入方法

- a. 奨学寄附金
- b. その他（具体的に _____）

下記口座振込みにより、お支払い下さい。

振込銀行名			
支店名			
預金種類 ○印	普通預金	当座預金	(その他)
口座名義			
ふりがな			
口座番号			

(注1) 助成金振込先通知書は、法人等組織の助成金振込口座を扱う会計責任者が行って下さい。

(注2) 口座名義は、法人等組織の助成金振込口座を記入してください。助成研究者の個人名義の口座は不可です。

研究成果報告書

令和 年 月 日

一般社団法人日本トンネル技術協会
会長 谷口 博昭 様

助成研究者

氏 名
所 属
役 職
住 所

印

令和 年 月 日付け助成番号 で助成決定を受けた「(助成テーマ名を記入)」につ
いて、研究を終了したので、報告書を添えて報告します。

【参考】 報告書様式

報告書は、以下の構成に準じて、作成して下さい。

<p>令和 年度 一般社団法人日本トンネル技術協会研究助成報告書 助成番号：</p> <p>助成テーマ名 —副題—</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>助成研究者氏名 所属機関名称</p>	<p>研究概要</p> <p>目的</p> <p>研究方法</p> <p>調査、実験等の結果</p> <p>結論</p> <p>今後の課題</p> <p>助成研究者所属・氏名 共同研究者所属・氏名</p>
<p>目次</p> <p>第 I 章 1. 1. 1. 1. 2. 2. 3.</p> <p>第 II 章 1.</p> <p>-1-</p>	<p>第I章 1. 1. 1. 1) (1) (2) 2) 1. 2. 2. 3.</p> <p>第II章 1.</p> <p>-2-</p>

様式－4. 3

研究助成金返還について

令和 年 月 日

一般社団法人日本トンネル技術協会
会長 谷口 博昭 様

助成研究者
氏 名
所 属
役 職
住 所

印

貴社団の令和 年度研究助成金について、下記のとおり余剰額が生じました。つきましては、返還に係る手続きについてよろしくお取り計らい願います。

記

1. 助成研究名

2. 助成金額 円

3. 余剰額 円

4. 返還理由 例) 計画の研究費用に対し、支出が達しなかったため